記入例

被扶養者の生計維持関係現況書

健康保険組合の被扶養者認定は、扶養希望者の年収、被扶養者に対して扶養義務のある親族の有無、被保険者の扶養能力、被保険者による経済的扶養の実態などを総合的に審査し、健保組合として「被扶養者資格がある」と判断した場合にはじめて被扶養者資格が認められます。
この現況書は、家族を被扶養者として認定する際必要となりますので、お手数でも詳しくご記入のうえ被扶養者（異動）届に添付してご提出ください。
（ただし､海外在住者以外の配偶者､１６歳未満の子供、在学証明書の添付できる１６歳以上の子供を除く）
この現況書は、被扶養者の認定にあたり生計維持関係の立証書類として重要な資料となりますので下記事項に事実をありのままお書きください。
なお、事実と相違した記載を行い認定を受けた場合は、その認定を取消すとともに支給された保険給付は全て返還していただくことになりますので正確に記入してください。

被保険者	記号・番号	○○○○ － 123	氏　名	【A】　健保　太郎
	被保険者確認欄	☑下記のとおり記入事項は事実と相違ありません。　令和　7　年　1　月　3　日		

今回申請する被扶養者について

フリガナ	ケンポ　ハナ	続柄	生年月日	年齢
氏　名	【B】　健保　花	長女	昭和 (平成) 令和　10　年　6　月　20　日	26

① 【B】の居住状況について

☐【A】と同居

☑【A】と別居　→　別居先住所：〒 123 － 4567 東京都渋谷区○○8-9-10　セメントアパート201号室

別居理由：元職場への通勤の為　仕送り額：月額　12万　円

② 【B】の配偶者の有無

☐　有　→　配偶者の職業：　　収入金額：　月額　　円

☑　無　→　☑ 未婚　☐ 離婚　☐ 死別　（死亡日：　年　月　日）

③ 【B】のいままでの健康保険について

☐ 国保　☑ 健保組合・協会健保　☐ 任意継続　☐ 共済組合　☐ 未加入

☐ 以前から【A】の被扶養者として加入

☐【A】以外の者の被扶養者として加入　→　どなたの被扶養者でしたか　続柄：

④ 【B】が【A】の被扶養者となる理由

☐ 被保険者の就職

☐ 収入減少（いつからか）：令和　年　月　日

☐ 離婚（離婚日）：令和　年　月　日

☐ 失業給付支給終了：令和　年　月　日

☐ その他の理由：

☑ 退職（退職日）：令和　6 年　12 月　31 日

☐ 結婚（婚姻日）：令和　年　月　日

☐ 養子縁組（縁組日）：令和　年　月　日

⑤【A】が【B】の生計を維持することとなった経緯

勤めていた会社を退職し、転職活動を行う中、失業給付を受給するまで収入がない為

例）「家事を優先するためパート勤務の時間を減らした為」　「退職し、失業給付受給開始まで収入がない為」

⑥ ④で「退職」と回答した場合の失業給付の受給について

☑ 受給予定あり　→　退職理由：　☑自己都合　☐ 会社都合

☐ 受給予定なし　→　☐ 雇用保険未加入　☐ 就労期間不足　☐今後就労意思がない為

⑦【B】の給与・アルバイト等の収入について

☐ あり　☑ なし

⑧【B】の年金の受給について

☐ あり　→　☐ 老齢年金

☑ なし　→　理由：☑ 受給開始年齢未達　☐ 加入期間不足　☐ その他（　　）

⑨【B】のその他の年金の受給について

☐ あり　→　☐ 障害年金　☐遺族年金　☐ 個人年金　☐ 企業年金

☑ なし

⑩【B】の傷病手当金の受給について

☐ あり　☐ 受給予定　（令和　　年　　月頃～）　☑ なし

⑪【B】の出産当金の受給について

☐ あり　☐ 受給予定　（令和　　年　　月頃～）　☑ なし

⑫【B】のその他の収入について

☐ あり　→　☐ 自営業（小売業・サービス業・農林漁業 等）　☐不動産収入　☐利子・配当

☐ その他の収入源（　　）

☑ なし

⑬【A】以外の扶養義務のある者の状況について

【B】の親族など、被保険者以外に扶養する義務のある方をご記入ください。

（例）母を扶養申請　＝　父・兄・姉・弟・妹、　義理の父を扶養申請＝義理の母・配偶者・配偶者の兄弟姉妹

※ 記入続柄＝被保険者からみた続柄

氏　名	年齢	続柄	職　業	扶養申請者との同居・別居	生活費の援助の有無
健保　幸子	54 歳	妻	会社員	☐ 同 居 ☑ 別 居	☐ 有　☑ 無 援助月額：　円
	歳			☐ 同 居 ☐ 別 居	☐ 有　☐ 無 援助月額：　円
	歳			☐ 同 居 ☐ 別 居	☐ 有　☐ 無 援助月額：　円